

## 平成29年度後発医薬品使用促進計画

(別添4 様式例)

策定年月日 29年 5月 22日

自治体名 (福祉事務所名)	品川区 (品川区福祉事務所)	後発医薬品の数量シェア (平成28年6月審査分)	全国の使用割合	国が定める目標値 <sup>(※)</sup> (A)	管内実績 (B)	目標との差 (A-B)	
			69.3%	75.0%	72.1%	2.9%	
<b>&lt;現在の状況&gt;</b> 1. 先発医薬品を調剤した事情(薬局からの報告についての集計)  28年6月審査分のうち摘要欄に記載があったもの  ・患者の意向 553件 ・薬局の備蓄 231件 ・その他 37件  2. 関係機関への説明の状況 対応済み			<b>&lt;対応方針&gt;</b> ----- <b>服薬指導の実施</b> ○服薬指導が必要な者についてリストを作成。 ○専門員が上記リストをもとに電話で服薬指導を実施。 ○電話がないなど、上記によりがたい場合については、ケースワーカーが服薬指導を実施。 ----- <b>関係機関への説明</b> ○対応済み ----- <b>薬局における備蓄について</b> 特段なし (備蓄については、医療全体の取組として取り組まれているため) ----- <b>その他</b> ○前年度に引き続き今年度も、新規の受給者にリーフレット等を送付。 ○生活保護申請相談時に説明				
			<b>&lt;使用促進が進んでいない原因&gt;</b>  ○後発医薬品を使ったが、不都合があった。 ○薬を変える(特に精神系のもの)ことへの不安。 ○薬局における備蓄の問題がある。				<b>&lt;備考&gt;</b>

※ 平成29年央までに75%達成を目指す。